

打吹公園だんご教育奨励賞 お礼のことば

この度はこのような賞をいただきありがとうございます。私は、3年間サッカー部と駅伝部に所属していました。毎日の勉強もあり両立することは体力的にも、精神的にも難しいものでした。また、今年は、学友会長を務めた1年でもあり、様々な場面で責任を感じ、時には悩むこともありました。そんな中強く実感したのは、「毎日続ける」ということの大切さです。部活動を引退するときも、学友会長を引き継ぐときも、自然と「今まで続けてきて良かった」という思いが浮かび、続けてこられたことは私の中で大きな自信に繋がっています。そして、この経験を通して、学んだことがあります。それは、「本当の楽しさ」です。一つひとつ、精一杯取り組み、それを苦しくても最後までやり遂げる、そのあとに感じる達成感は何とも言えないものです。これを「本当の楽しさ」というのだと思いました。

また私は、中学校生活を通して「知る」ということの大切さを学びました。執行部の活動は、その多くが「縁の下での力持ち」としての仕事です。裏方だからこそ見えてくる、仲間や先生方の苦労がたくさんありました。そこから私は、自分の学校生活が、誰かの、たくさんの時間と努力によって創り上げられていたのだということに気づかされました。見えない部分を知ることがどれだけ難しいか、そしてそれがどれほど大切なことかを学びました。

これらの学びは、いろいろなことに挑戦してきたからこそ、得られたものだと思います。そしてこの挑戦は、自分を支えてくれた周りの存在なしにはできないことばかりでした。常に向上心を持っている心強い仲間たちや、どんなときも生徒に負けないほどの情熱と優しさであふれた先生方、そしていつも一番近くでサポートしてくれた家族や地域の方々など、たくさんの人からたくさんの面で背中を押していただきました。

これからの人生でも新しいことに挑戦し、全力で楽しみ、感謝の気持ちを忘れないという中学校生活での学びを胸に刻み、一つひとつ努力していきます。本日は本当にありがとうございました。

令和7年2月4日 倉吉市立東中学校 三谷毅